

一一 日本軍歐洲派遣ニ閔スル交渉一件 三一七 三一八

三一八二

事項一一 日本軍歐洲派遣ニ閔スル交渉一件

三一七 一月四日

在英國井上大臣大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

三一八 一月九日

在英國井上大臣大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

日本驅逐艦隊ノ地中海派遣方ニ閔シ英国外相ヨリ申

出テタルニ付請訓ノ件

第四三号(極秘)

前電ノ談話後「グレー」氏ハ茲ニ海軍省ヨリ本大臣ニ照会
中ノ一事件アリトテ「英國海軍ハ地中海方面ニ使用スヘキ
light draught boats ノ不足ニ苦ニ居レリトノカトニテ此
際日本海軍ヨリ地中海ノ patrol service ニ充ツヘク驅逐
艦隊派遣ノ儀日本政府ニ請求方海軍省ヨリ依頼アリタリ然
シ日本政府ノ意向セサルニ直チニ正式ノ照会ヲ為ス
モ妙ナラザルニ付本使ヨリ非公式ニ帝國政府ノ内意ヲ伺ヒ
呉レ間敷ヤ」トノコトニ付本使ハ地中海方面ヘ我艦隊派遣
ノ儀ニ付テハ開戦當時彼我交渉ノ始末モアリ今回モ多分六
ヶ敷カルヘキカト思ハルモ御依頼ノ趣ハ早速政府ニ伝達
シ置クヘシト答覆ケリ何分ノ儀御回訓ヲ請フ

第五一号(極秘)

「グレー」氏ノ請ニ依リ一月九日往訪セルニ同大臣ハ往電
第四三号談話ノ件ニ付テハ海軍省ヨリ更ニ事情変化ノ理由
ノ下ニ改テ照会シ来レリ其意味ハ独逸ガ「ロノマース、レーデン
ング」ノ為英海軍封鎖線ヲ破リ一二隻ノ巡洋艦ヲ大西洋
ニ(進出セシタル?)コトハ今ヤ疑ナキ事實ナル様認メ
ラル從テ右敵艦ハ艦テ印度洋方面ニ進出シ商業破壊ノ動作
ヲ再演スルヤモ計リ難シ此新事態發生ニ鑑ミ英國海軍ハ地
中海ヘ日本驅逐艦隊ノ派遣方希望ノ前議ハ之ヲ取消シ更ニ
新嘉坡ヘ駆逐艦隊派遣及印度洋方面警戒ノ為別ニ巡洋艦隊
派遣方日本海軍ハ請求シタシムノカトナリト述べ
右ニ付テハ石炭供給其ノ他ノ点ニ付テハ如何様トモ日本政

府ノ希望ノ通「アレンジ」スベキニ付右帝國政府へ伝達ノ
上何分ノ回答ヲ得ル様本使ヘ依頼セラレタルニ付改メテ御
考量ノ上何分ノ儀御電訓ヲ請フ「グレー」氏ハ右談話中印

度洋方面ニハ既ニ当初独逸艦隊横行當時日本ヨリ艦隊派遣
セラレタルコトセアリ我海軍今回ノ希望ハ日本政府ニ於テ
モ應諾ニ困難ナラザルベシト思ハルト附言セラレタリ尚同
氏ノ所言ニ依レバ新嘉坡ニハ現ニ濠洲海軍ノ駆逐艦隊在泊
中ナル趣ニテ英海軍ノ希望ハ我駆逐艦隊同地派遣ヲ得タル
上濠洲駆逐艦ハ他方面ニ差向ケ使用セムトスルニアルモノ
ノ如シ

何様トモ我方希望ノ形式ニテ本件照請手続ヲ為スヘキ旨申
添アリ

Request for naval assistance from Japanese Government has arisen from necessity for providing for safety of the transport route in the Indian Ocean, owing to possibility of German commerce raiding which is now in the Atlantic reaching those waters. Details of assistance, particularly the desire, are as follows.

1. A cruiser squadron in the Indian Ocean to operate in the same manners as early in war to assist in the protection of transport route between Australia and Aden.

2.

A small force of destroyers to assist in patrolling Malacca Strait. (It is thought that four would be sufficient.) Commander-in-Chief of China whose headquarters are in Singapore is in charge of Indian Ocean, (in the absence of Commander-in-Chief of East Indies in Egypt,) and it is proposed that as before he should influence general direction of Allied forces in the Indian Ocean.

日本艦隊ノ派遣方ニ閔シ英国外務大臣ヨリ非

公式覚書送付越ノ件

第五四号至急(極秘)

(一月十一日接受)

往電第五一號ニ閔シ「グレー」氏ヨリ一月十日附私信ヲ以テ更ニ左記覚書ヲ送越セリ尚本件ハ本使ニ於テ帝國政府ノ意向開示ニ接スル迄、unofficial inquiry ヨリ置カレタ

ク日本國海軍省ニ於テ應諾ニ至ル、
ク内示アリタル上ハ如

一一 日本軍歐洲派遣ニ閔スル交渉一件 三一九

三一九

一一 日本軍歐洲派遣ニ関スル交渉一件 三二〇

三八四

同官ヨリ詳細電報アリタルニ付右ヲモ御参照ノ上何分ノ儀
電訓請フ

三二〇 二月十八日 在英國井上大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

日本軍艦派遣問題及我方提議ノ諸問題ニ付英

国外相ト会談ノ件

第六〇号

貴電第六六号ニ閲シ二月十八日「グレー」氏ヲ往訪貴電第
六七号口訳ノ上御来示ノ次第篤ト開陳セルニ同大臣ハ先ツ
貴電上段開戦以来我海軍ノ援助ノ点ニ対シテハ英國側ノ元
ヨリ十分認識スル所ナル旨ヲ述ヘ語ヲ進メテ曰ク只今拝聴
セル件ニ付テハ恰モ昨日グリーン大使ヨリモ來電アリ自分
モ出来得ル限り日本政府ニ満足ヲ与ヘンコトヲ欲スルヲ以
テ一両日内植民大臣ニ会見熟談ヲナス考ニテ尚濠洲總理大
臣モ其内來英ノ筈ニ付着ノ上ハ是又自分ヨリ懇談ニ及フ積
リナルガ石井男ノ提議セラレタル問題中海峡植民地日本医
師ノ件ノ如キ地方行政上ノ専門事項ニ屬スル分ハ暫ク措キ
移民問題及ヒ濠洲ノ日英条約加盟ノ件ノ如キハ何レモ關係
植民地ニ取リテハ広汎ナル政治問題ニ属スル次第ナルヲ以

We will undertake to finance means, if necessary ト
述ヘ尚貴電御来示ノ諸問題ニ付テハ出来得ル限り日本政府
ニ満足ヲ与ヘ得ル様十分尽力ノ考ナリト再言セラレタリ

三二一 二月十九日 在英國井上大使ヨリ
石井外務大臣(電報)

軍艦派遣問題ニ閲シ英國政府ニ於テ我方希望
ニ満足ナル保障ヲ与ヘザルトキノ日本政府ノ
困難ナル立場ヲ先方ニ徹底方訓令ノ件

第七五号 貴電第六〇号ニ閲シ

帝国政府ニ於テ軍艦派遣ノ条件トシテ諸問題ノ解決ヲ迫ル
ニ非ザルコト貴官御説明ノ如シ費用云々ハ本大臣ヨリ在日
本英大使ニ対シ帝國議会ニ於テ英領ノ日本排斥ヲ遺憾トシ
政府ヲ攻撃スル央其英領ヲ保護スル費用ヲ追加予算トシテ
提出スル時ハ種々不愉快且因難ヲ見ルベキニ付政府ハ責任
支出ヲ為スノ外ナカルヘク左スレハ追テ事後承諾ヲ求ムル
場合撃攻撃ヲ受クルコトナルヘシト余談ニ述ベタルコトア
リ十九日追加予算委員会ニ於テ八阪丸賠償問題討議中又々
海軍援助ト英領問題トニ論及シ盛ナル攻撃アリタルヲ以テ

海相及本大臣ヨリ秘密会ヲ請求シ説明ニ努メタルガ要スル
ニ此際英國政府ニ於テ前電ニ記載セル帝國政府ノ希望ニ對
シ満足ナル保障ヲ与ヘザルトキハ軍艦派遣問題ニ閲シ帝國
政府ハ極メテ困難ナル立場ニ陥ルニ至ルベキコトヲ先方ニ
徹底セシメラレタシ

三二二 二月二十一日 在英國井上大使ヨリ
石井外務大臣(電報)

軍艦派遣ニ閲連シ濠洲ノ日英条約加入問題及
海峡植民地醫師問題ニ付英国外相談話ノ件

第六七号 (1) 二月二十一日接受)

二月二十一日「グレー」氏ニ面会貴電第七五号御来示ノ趣
篤ト内話セルニ同氏ハ貴意ノアル処ハ之ヲ諒トスル旨ヲ述
ヘ同時ニ往電第六〇号所報ノ如ク植民大臣ト会談セルニ同
大臣ハ記録取調ノ結果(濠洲ノ日英条約加盟問題ニ閲スル
日本ノ希望ハ昨年春我方ヨリ提出ノ覚書ノ基礎ニテノコト
ト承知シ居レルガ濠洲總理大臣モ來月初ニハ着英スヘキニ
付其際同大臣ヨリ篤ト懇談ヲ試ムヘク又(2)海峡植民地醫師
問題ノ件ハ植民大臣ノ承知スル処ニテハ事資格問題ニ属シ
醫師法ノ規定ニモ鑑ミ篤ト研究ノ要アリト語リ居リタリト

テ両者共今直ニ何等確答ヲ与へ得ザル次第ナル旨ヲ述ベラ
レタリ医師問題ニ関スル我要求ニ付テハ尚詳細本多ヲシテ
「オルストン」ニ説明セシメ置ケリ

三月十七日 在英國井上大臣宛（ヨリ）
石井外務大臣（電報）

英國海軍ニ於テ臨検搜索權ヲ日本船舶ニ対シ
拠棄セルコトニ付グレー外相ト会談ノ件

第九四号 至急

「グレー」氏ノ請ニ依リ三月十七日往訪セルニ同大臣ハ往
電第九二号本使申出ノ件ニ付テハ早速海軍大臣ト熟議ヲ遂
ゲタルガ「バルフォア」ニ於テ多少ノ異存アリシモ結局日
英親善ノ見地ヨリ英國巡洋艦ハ日本國船ニ対シ interfere
セシメサルコトニ決定シ昨日巳ニ當該官憲ニ其旨電訓セリ
ト告ヶ尚本使ノ質問ニ対シ shall not interfere トハ臨検及
搜索ヲナサシメズトノ意ナリト説明シタル上サテ本件ハ之
ニテ一先ヅ妥協ニ至リタルコトナルガ斯ノ如ク英國ニ於テ
交戦国トシテ有スル臨検搜索権利ヲ日本船舶ニ対シ拠棄シ
タリトノコト世上ニ発表セラルルトキハ他国就中他ノ同盟
各國側ヨリモ同様ノ要求ニ接スルニ至ルベキ義ニ付本件日

尤モ日本政府ニ於テハ或ハ國論鎮靜ノ必要上之カ公表ノ已
ムナキ事情モ起り得ルコトカト思ハル所其場合ニハ本件
ノ事実ハ忽チ当國ニ伝ハリ物議ノ種トナリ議會ノ問題トナ
ルヘキニ付右様ノ場合ニ応ズルノ措置トシテ日本政府ヨリ
日本船舶ハ一切、敵人ノ貨物二、敵人ノ旅客及三、戰時
禁制品ヲ搭載セズ又四、英國臣民ト雖正當ニ發給セラレタ
ル旅券ヲ有スルニアラザレバ旅客トシテ搭載セザルコト竝
五、Meewe 号ノ如キ敵船横行ノ危険ニ備フル為日本海軍
ヲシテ支那海方面ヲ patrol セシムル旨ノ assurance ロ日
本政府ヨリ得タシ左スレハ英國政府モ無意味ニ交戦權ヲ拋
擲セシムル訳ニアラザルコトトナリ政府ノ立場ニモ資スヘ
シト述ヘラレタルニ付

本使ハ右ノ内第一敵人ノ貨物ニ關シテハ開戦後間モナク在
支敵人ト商取引問題ニ關聯シ英國政府ヨリ申入ノ次第モア
リ當業者ニ内報ノ結果我商船ハ爾來右様ノ貨物搭載ヲ廃止
シ居レル様記憶ス又戰時禁制品等輸送ノ取締ニ關シテハ我
方ニモ無論法規ノ存スルアリ正当ノ旅券ヲ有セザル英國臣

民ヲ旅客トシテ搭載セザルコトハ新問題ナレトモ是ハ實行

出来ヘキコトナルヤニ思考ス若シ夫レ「メーウェ」号類似

ノ敵船東洋近海ニ出没スルカ如キ場合ニ遭遇セバ之カ撲滅

ハ日本自身ノ為ニ切要ニシテ英國側ノ請求ヲ待ツ迄モナキ

義ニ付支那海方面ノ警邏ハ我海軍ニ於テ素ヨリ適宜実行シ

居ルコトト信ズト述べタルニ「グレー」氏ハ右本使談話ノ

意味ノ事ヲ帝国政府ノ訓示トシテ申込マルルヲ得バ英國政

府ニ取リ真ニ好都合ナリトテ右ニ付請訓方懇望セラレタル

後実ハ英國海軍ニテハ仏伊両國船舶ニ対シテハ臨検ヲ行ヒ

ソツアリ停船ノ為空砲發射ヲ為シタル場合モ少カラズ海軍

大臣カ日本政府今回ノ希望ニ応ズルニ躊躇シタルハ全ク右

ノ事情ニ依ルモノナリ尚海軍大臣ハ日本軍艦モ英國商船ヲ

臨檢シタルコトナキ筈ハナシト云ヒ居レリト語ラレタルニ

付本使ハ其ノ点ニ付テハ一昨日ノ会見後當館附海軍武官ニ

モ尋ネ見タルガ事実問題トシテハ我軍艦ニ於テ英船ヲ臨檢

シタル場合ハナキモノノ如シト述ヘ置キタリ右ノ次第ニテ
今回ノ問題モ「グレー」氏ノ尽力ニ依リ英國政府ニ於テ我

申込ヲ容レタルニ付テハ前段「アッショアランス」ノ点ニ

付テハ同氏内話ニ係ル先方ノ事情御斟酌ノ上何分ノ御電訓

三月一十三日 在英國井上大使ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

海峽植民地醫師問題及濠洲ノ日英條約加入問題

題ニ付英國外相トノ会談報告並請訓ノ件

第九九号

(二月一十三日接受)

三月二十二日グレー氏ノ請ニ依リ往訪シタルニ同大臣ハ往電第九五号海峽植民地醫師問題ニ関シ植民大臣ニ於テ中央医事会ト協議ノ末官立及府県立医学専門学校並文部大臣指定ノ私立医学専門学校卒業ノ日本醫師ノ日本人間開業許可ノ措置ニ出ヅル様(adopt of measures for admission to practise among Japanese)好都合ニ詮議方海峽植民地知事及馬來連邦 High Commissionerニ対シ勸告中ナリ(is recommending)トヘ趣旨ノ覺書ヲ本使ニ手交シ右ハ未タ完全解決ニハアラザルモ差向キ解決ノ第一歩トシテ請取ラレタシト述べ尚本使ノ問ニ答ヘ本件地方官憲ニ対スル訓令ニ favourable consideration ハ語ヲ用キタル所以ハ本件実行ニハ同植民地立法會議ノ決議ヲ要スルガ為ニ外ナラズ議員ノ多数ハ官吏ナルヲ以テ政府ノ希望通ノ議決ヲ見ルベキハ實際上疑ナキ所ナリト説明セラレタリ

三月二十二日グレー氏ノ請ニ依リ往訪シタルニ同大臣ハ往電第九五号海峽植民地醫師問題ニ関シ植民大臣ニ於テ中央医事会ト協議ノ末官立及府県立医学専門学校並文部大臣指定ノ私立医学専門学校卒業ノ日本醫師ノ日本人間開業許可ノ措置ニ出ヅル様(adopt of measures for admission to practise among Japanese)好都合ニ詮議方海峽植民地知事及馬來連邦 High Commissionerニ対シ勸告中ナリ(is recommending)トヘ趣旨ノ覺書ヲ本使ニ手交シ右ハ未タ完全解決ニハアラザルモ差向キ解決ノ第一歩トシテ請取ラレタシト述べ尚本使ノ問ニ答ヘ本件地方官憲ニ対スル訓令ニ favourable consideration ハ語ヲ用キタル所以ハ本件実行ニハ同植民地立法會議ノ決議ヲ要スルガ為ニ外ナラズ議員ノ多数ハ官吏ナルヲ以テ政府ノ希望通ノ議決ヲ見ルベキハ實際上疑ナキ所ナリト説明セラレタリ

(一) 移民問題ハ濠洲ノ最モ重フ置ク大問題ナルニ付日本政府ニ於テ日本移民ノ濠洲ニ送ラルコトニ関シ濠洲政府ノ満足トスヘキ保障ヲ与ヘラルコト(本使ハ帝国政府ニ於テモ此点ニ付加奈陀ニ対スルト同様ノ保障ヲ濠洲ニ与フルノ意アルコトハ昨年提出ノ覺書ニ対シテモ明記セル所ナリ移民問題ニ関スル濠洲側ノ故障ハ右ニテ除去セラルベキ筈ニアラザルカト述べタルニ「グレー」氏ハ我覺書中右ノ点ハ濠洲首相ニ於テモ閱覽済ナルモ同首相ハ右ニ拘ラス尚濠洲政府ノ満足トスル保障取付ヲ希望トシテ申出セル次第ナル旨答ヘラレタリ)

(二) 日本船舶ハ濠洲ニ於テ沿岸貿易ニ從事シ得ザルコト
「グレー」氏曰ク濠洲沿岸貿易ニ付テハ英本国ノ商船ニ對ト共ニ今後ノ交渉振御回訓アリタシ

三月一十六日 在英國井上大使宛(電報)

濠洲及海峽植民地ノ問題ニ關スル英國外相ノ態度ニ鑑ミ先方申出ニ応スル準備中ナル旨開

陳方訓令ノ件

(三) 関税ニ關シテハ最惠國待遇主義ヲ採用スルコト(本項

「グレー」氏ノ談話ヲ機トシ本使ハ移民以外ノ本邦人ノ居住出入營業等ニ關シテハ我方ハ相互主義ノ下ニ自國民待遇ヲ必要トスルモノナル旨注意シ置ケリ)

四日英条約規定ノ加盟期間ハ已ニ終了セルニ付濠洲ノ加盟

一一 日本軍歐洲派遣ニ關スル交渉一件 二二六

一一 日本軍歐洲派遣ニ関スル交渉一件 三三一七 三三一八

三九〇

力為メニ準備シツツアル旨貴官ハ英國外務大臣ニ開陳セラルヘシ尚ホ貴電第九九号今後ノ交渉振ニ関シテハ追テ何分ノ儀申進スヘシ

~~~~~

三三一七 三月一十八日 在英國井上大使 石井外務大臣宛(電報)

英國外相ノ好意ニ信頼スル旨並我軍艦派遣準備中ナル旨クルウ卿ニ陳述ノ件

第一〇九号

前電ノ談話後本使ハ貴電第一〇九号ノ趣旨ヲ「クルウ」卿ニ申述ベタルニ同卿ハ「グレー」氏ノ尽力ニ対シ御挨拶ノ次第八本人モ深ク多トスヘク早速同氏ヘ転達致置クヘク軍艦派遣ニ關スル御來示ノ次第モ海軍當局ニ移牒スヘシトテ両件共ニ満足ノ意ヲ表シ斯クテ軍艦派遣モ近ク実現ヲ見ルコトナラント附言セラレタルニ付本使ハ我政府モ其積リニテ準備シツツアル次第ナリト答置ケリ

~~~~~

三三一八 五月四日 在新嘉坡藤井領事ヨリ 石井外務大臣宛

我第六戰隊印度洋方面等警備ニ關スル件

メテ之ヲ欲セザルモノト観測セラル

野間口司令官ヨリ内聞セル所ニ基キ右御参考迄ニ御報告申進候敬具

~~~~~

三三一九 十一月六日 山田陸軍次官宛(幣原外務次官ヨリ)

仏國大本營ニ於テ開催ノ連合國軍事會議ヘ日

本委員派遣方照会ノ件

政機密第九七号

在本邦仏國大使ハ本日同大使館附陸軍武官「ボーナー」大尉ヲ帶同シ寺内当省大臣ヲ訪問ノ上本月十五日同國大本營ニ於テ連合國軍事會議開催セラルヘキ旨並帝國最高軍司令部ニ於テ同會議ヘ在仏帝國代表者中一名派遣方ノ御決定ハ頗ル歓迎スルトコロトナルヘキ旨別紙写ノ通ノ覚書ヲ提示シ申出ノ次第有之候条委曲右ニテ御承知ノ上御詮議ノ結果至急御回報相成度此段及照会候也

(別紙)

Tokyo, le 6 Novembre 1916.

Ambassade de la

République Française au

一一 日本軍歐洲派遣ニ關スル交渉一件 三三一九

公信第一五号(機密)

(五月二十二日接受)

野間口第六戰隊司令官ハ客月十四日軍艦利根ヲ率キテ来港同戰隊ノ所屬諸艦ノ警備区域ニ關シ當地英國支那艦隊司令長官グラント Grant 中將ト談合スル所アリタリ

英長官ハ帝國軍艦カ印度洋方面ノ警備ニ任スルコトニ關シテハ極メテ之ヲ喜バザルガ如キ語氣ヲ示シ本國政府ヨリ右ニ付何等ノ命令ニ接シ居ラザル旨明言シ野間口司令官ノ受ケタル命令ト軒輊アリタルガ同官カ飽迄其受ケタル命令通りノ行動ヲ主張シタル結果先方ノ希望セザル印度沿岸ノ航海ハ之ヲ避ケ同方面ハ主トシテ彼南古倫母間並ニ濠洲古倫母間ノ通商航路ヲ警備スルコトトシ英長官ヨリ本國政府ニ電照シ欣然同意ノ旨電訓ニ接シタル趣ニ有之候右ノ結果野間口司令官ハ當分ノ内印度洋方面ニ配下ノ二艦北「ボルネオ」方面ニ一艦ヲ交代配置シ當地ヲ基点トスル馬刺加海峡ノ警備ハ第十一駆逐隊ノ四艦ヲシテ之ニ当ラシムルコトトナシタル趣ナリ要之当地ノ英國海軍官憲ハ今日モ尚依然トシテ印度洋方面ニ於ケル帝國軍艦ノ遊弋ヲ内心喜ハザルモノノ如ク殊ニ印度沿岸近クニ帝國海軍ノ威力ヲ示サルルコトハ察スルニ印度土民統治上ノ見地ヨリ極

Japon  
Très confidentiel

Le Gouvernement de la République fait connaître au gouvernement japonais qu'en vue d'arrêter la conduite des opérations qui doivent être poursuivies par les alliés au cours de l'hiver de 1916 et au printemps de 1917 une conférence sera réunie à Grand Quartier Général français le 15 Novembre prochain.

Si le Haut Commandement Japonais voulait bien déléguer à cette conférence un de ses représentants en France, cette décision serait accueillie très favorablement.

A cette conférence prendront part les Commandants en chef alliés ou leurs représentants./.

註 十一月六日(月) 在本邦仏國大使ハ同大使館附陸軍武官 La Pomarède大尉同伴ノ上本覺書ヲ寺内兼任外務大臣ハ手交セリ(右和訳文)(註 日本外務省作成ノ仮訳ナリ)

仏國政府ハ一千九百十六年ノ冬ヨリ一千九百十七年ノ春ニ亘リ連合各國ニヨリテ實行セラレサル可ラサル作戦ノ指導ヲ決定スル為十一月十五日仏國大本營ニ於テ會議ヲ開催セラルルコトヲ通知ス

若シ日本ノ最高軍府ニ於テ此會議ニ仏國駐在代表者ノ一名ヲ参列セシムルコトヲ承諾セラルルコトハ頗ル歓迎スル所ナリ此會議ニハ連合國ノ總指揮官又ハ代表者カ参加スルモノナリ

三三〇 十一月十日

(寺内兼任外務大臣(福岡出張中)ヨリ  
幣原外務次官宛(電報))

**仏國大本營ニ於テ開催ノ連合國軍事會議ニ我**

**代表者派遣ニ關スル件**

附記 一 十一月十一日付広田守信領事發幣原外務次官

宛私信仏國ニ於ケル連合國軍事會議ニ我代表者ヲ派遣セザル理由内報ノ件

二 十一月十二日田中參謀次長發浜面陸軍大佐宛

電報(一)(二)

第二号 至急

仏國ニ於ケル軍事會議ニ我代表者派遣ノ件ニ關シ參謀總長トモ協議シタルガ生憎滯欧中ノ武官ニ適當ノ者無キヲ以テ

日本ノ代表者トシテ出席セシムルコトハ乍遺憾不可能ナリ然レトモ折角ノ勧誘ナレハ在仏大使館付陸軍武官永井中佐ヲシテ代表者ノ資格ニ非ズシテ單ニ會議ニ列席セシムルコ

トト致シタキニ付在仏大使ニ宛テ本件仏國政府ノ勧誘ニ対シ同國政府ニ向テ帝國政府ノ謝意ヲ表スルト共ニ右ノ次第ヲ申入レ若シ仏國政府ニ於テ上記ノ趣旨ニ依リ永井中佐ガ該會議ニ列席スルコトニ異存ナキニ於テハ早速右實行方可然取計フ様電訓セラレタシ

以上ハ陸軍大臣トモ協議済ナリ右在仏大使ニ電訓ト同時ニ參謀總長ヨリモ永井中佐ニ電訓ノ筈ニ付發訓ノ上ハ其旨至急電報アリタシ、尚昨年十一月頃本件類似ノ勧誘ニ接シタル際我方ニテハ右勧誘ニ応シ代表者ヲ派遣スル結果自然出兵問題等持チ上ガル虞アルヲ慮リ勸誘ニ応セザリシ成行アル由聞及ヒ居レルガ右ノ懸念ハ別トスルモ今回ハ上述ノ如ク我代表者トシテ出席セシムルコトハ實際不可能ノ義ナルニ付前記ノ通り取計フ外致方ナキ次第ナリ御含迄ニ申添ニ右在仏大使ヘ訓令ノ次第在本邦仏國大使ヘ通報方可然御取計アリタシ

(附記二)

十一月十一日付広田守信領事發幣原外務次官私信

仏國ニ於ケル軍事會議ニ我代表者ヲ派遣セザル理由内報ノ件(私信)

拝啓陳者小官及佐藤属ハ既電御予報致置候通リノ旅程ニテ昨十日入福预定ノ宿舎ニ大臣大藤副官及小官及佐藤属其他内閣属二名宿泊大藤副官ノ配慮ニヨリ小官及佐藤属モ適當ノ室ヲ得電信「コード」ノ坂坂上ニモ心配無ク万事好都合ニ運ヒ居リ候

大臣ニハ朝夕御繁忙ニ拘ラズ元氣愈々御旺盛ニ付御安心相成度昨夜ハ佐世保ニ陛下御出迎ヘノ為御出張今日ハ午後陞下ニ屬從シテ福岡ヲ去ル十里許リノ演習地鳥栖ニ向ハレ今夜ハ陞トト共ニ同地ニ御仮營明日午後御帰福其後ハ十六日陛下御発輦迄御滞福ノ予定ニ有之候

却説仏國軍事會議ノ件ニ關シテハ昨十日大臣宿舎ニ參謀總長及次長集合御協議ノ結果結局昨電ノ通リニ決定致シタル次第ニ有之候ガ右措置ヲ執ラルルニ至レル理由ニ關シテハ大臣ト參謀本部側トハ多少意見ノ異ナレルモノアリト感得致候其ノ故ハ參謀本部側ニテハ仮令現ニ在仏又ハ在欧ノ我武官中ニ適任者アリトスルモ該會議ニ日本ヨリ代表者ヲ出席セシムルコトハ出兵問題ヲ持込マルル虞アルニ付成ルヘク之ヲ差控ヘタシトノ趣旨ヲ前提トシテ本件ヲ措置セントスルモノノ如キ処大臣ノ御意見ハ仮令出兵問題ヲ持込マル

(附記二)

十一月十二日田中參謀次長發浜面陸軍大佐宛電報

(一)

大正五年十一月十一日夜

広田守信

幣原次官閣下

上原參謀總長ヨリ連合國軍事會議ニ参列ノ永井中佐宛訓電内  
容通報ノ件

仏國軍事會議ノ件ニ関シ參謀總長ヨリ永井中佐ヘ本日前  
十一時次ノ如ク電報セラレタリ

今回在日本仏國大使ヨリ外務大臣ヘ本月十五日仏國大本營  
ニ於テ連合各國ノ作戦指導ノ為メ軍事會議開催セラルヘキ  
筈ニ就キ帝國政府ヨリ右會議ニ代表者ヲ列席セシムルコト  
ヲ歓迎スル旨申シ述ヘタルニヨリ外務大臣ヨリ我在仏國大  
使ニ仏國政府ニ於テ承諾スルナラバ代表者ノ資格ニアラズ  
シテ單ニ該會議ニ列席セシムルト云フ意味ニ於テ貴官ヲ出

席セシムベキ旨ヲ仏國政府ヘ申入ル様命令セラレタル筈  
ナリ依テ我大使ガ右ノ主旨ニ於テ仏國政府ノ承諾ヲ得タル  
上ハ貴官ハ帝國ノ軍事代表者ニ非ズ单ニ該會議列席者ノ一  
員タルコトノ意義ヲ了解シ進ンデ發言ノ要ナキハ勿論唯篤  
ト該會議ノ模様ヨリ各國ノ軍事的行動及施設ノ状況ヲ偵察  
シテ報告スルノ任務ヲ有スルニ過ギザルモノト心得右ノ範  
囲内ニ於テ我大使ト協議ヲ遂ケ該會議ニ列席シテ適宜ノ行  
動ヲ取ルヘシ

右電報ヲ外務及陸軍次官ニ閱覽セシメラルベシ

### 政機密第九一號

以書翰致啓上候陳者當冬ヨリ来春ニ亘ル連合國側ノ作戦行  
動ニ関シ協議決定ノ為本月十五日貴國大本營ニ於テ軍事會  
議開催ノ趣ヲ以テ帝國最高司令部ヨリ代表者派遣ノ件ニ付  
本月六日附口上書ヲ以テ御申出ノ次第委曲致敬承候本件貴  
國政府御勸誘ハ帝國政府ノ深厚ナル謝意ヲ表スル処ニ有之  
直ニ關係官序ニモ及協議候結果現在滯欧ノ日本武官中ヨリ  
同會議ニ帝國代表者トシテ列席セシムルニ適當ノ者ヲ選任  
スルコトハ乍遺憾事実上不可能ナレトモ折角ノ招請ニモ有  
之在仏帝國大使館附陸軍武官永井中佐ヲ代表者ノ資格ヲ以  
テセズシテ單ニ會議ニ列席セシムルコトニ致度尙本件ハ会  
議期日切迫ノ為至急ヲ要スル義ト被存候ニ付右閣下ニ通報  
スルト共ニ在貴國帝國大使ヘ電報ヲ以テ委曲通報ノ上貴國  
政府ニ右ノ趣申入ルベキ様訓令致置候間右様御了承相成度  
右回答申進旁本大臣ハ茲ニ閣下ニ向テ重ネテ敬意ヲ表シ候  
敬具

三三一 十一月十五日

(幣原外務次官ヨリ  
寺内兼任外務大臣宛 (電報)

永井中佐ノ仏國ニ於ケル軍事會議列席ニ異存  
一二 日本軍歐洲派遣ニ關スル交渉一件 三三二

### (一)

田中參謀次長ヨリ永井中佐宛軍事會議参列心得通報ノ件

本日本職ヨリ永井中佐ニ次ノ電報ヲ発送セリ。

陸軍次官及外務次官ニモ閲覽セシメラルヘシ

貴官カ這回仏國大本營ニ於ケル軍事會議ニ参列セラルルコ  
トトナリタル場合ニハ唯貴官限リノ觀念トシテ左記事項ヲ  
心底ニ留メ置カルヘシ

一 日本ハ如何ナル場合ニ於テモ歐州ノ戰争ニ直接兵力ヲ  
以テ参加スルノ意無キノミナラズ之カ實現モ不可能ナル  
コト

二 日本ガ連合各國ヲ援助スル方法ハ軍需品ノ補給ヲ助ク  
ルト云フノ外ナシ而シテ兵器彈薬ハ今日迄ニ既ニ無數ノ  
動員用ノモノヲ露國ニ供給セシヲ以テ此上該種ノ兵器彈  
薬ヲ支出スル能ハス故ニ此上供給ヲ要スレバ我製作力ノ  
アラン限リヲ尽シテ之ニ応ズルノ一法アルノミ  
コト

三三一 十一月十一日 在本邦仏國大使宛 (ヨリ)

議ニ日本委員派遣方照会ニ対シ回答ノ件  
仏國大本營ニ於テ開催セラルル連合國軍事會

ナキ旨仏國外務省ヨリ回答ノ件

### 第一一號

仏國ニ於ケル軍事會議ニ永井中佐ヲ單ニ列席セシムルコト  
ニ異存ナキ旨仏國外務省ヨリ松井大使ニ回答アリタルニ付  
其ノ旨同中佐ニ伝ヘ置キタル趣同大使ヨリ本月十四日發電  
報アリタリ